

だからその性生活において、つまりかならずしもへ性解放▽の部面でのへ前衛▽でありえないではないか。

⑤へ前衛▽と呼ばれるひとりの人間は、すべてにおいて前衛的なのではない。むしろ後衛的・退嬰？的保守的部分とともにあわせもつゝごく限られたその一部門にあっての前衛性によつてこそ、前衛なのである。

⑥とするならば、へ前衛▽とはいまで考そられていた――きわめて厳しい革命的戒律をみにつけた、自己献身的――全能者であることを意味しない。むしろそれ

きものはないうるだらうか。
どのようが超人といえども、自らの志向と選択によつて、彼の鋭敏と能力を最大に發揮しうる——一つせいぜい二つ三つの分野にあっての前衛たりうるのみである。しかもその前衛性は、あくまで△相対的△なものでしかない。

④ たとえばA——へ誰でもよい。慎太郎でも小田実でも、宮本顕治でも、いいだももでもしが自称あるいは他称で、政治的前衛だったり文学的前衛であるとする。

それは、諸闘争におけるすぐれて政治的革命分子へ政治的前衛Vを誰もが思いうかべて語つてゐる。

② 現代の革命が、政治革命だけを意味するものでない以上、政治的前衛のみで闘いを進めえないことあきらかである。

とすれば、前衛Vとは、あらゆる分野にあけるそれとして、またその総合力をあらわす全人的なものとして、求められねばならないだろう。

前編の一冊

序説と運命の被呪かに

雨潤
潤雨
雨潤
潤雨

N-ro.19
姫路市亀山354
同井孝方
自由連合社
定価 30円
1部

車を迫られる自種
し熱風吹き荒れるアジト
自由奔放の叛濫！
何処へ！

あいてのみ前衛
であり先駆であるところの、普通の——すきま
だらけの平凡な人間でこそあるそのことによつてこそ、前衛である！

⑦ このようにして前衛が、前衛であるとともにへ一般▽である、といふ認識はへ前衛の一般化▽、あるいはへ普遍化▽へ多數化▽を意味するものとして、現代革命にあけるへ何が革命主体か▽を考えるとき、へ前衛▽は——労働者本隊説・フロレタリア独裁神話の崩壊にかわる——きわめて重要な視点を与えるものとして登場することになるだろう。へこのことは改めてかく

一船の前衛化

前衛 三つの意味

状況∨と／＼存在∨を／＼可能性としての前衛∨としてとらえることにおいて、发展の根柢をもつ。

⑨ そのような状況としての「前衛的」は、あらゆるヘミヤンルのなかにさまざまに存在する。たとえば文学だけでも小説・詩・評論といふ細分化において、また日常生活の職種や技能のうちにも、である。

（）

論系と連合

でなく、さもやまなへ空間▽の場所ヒへ時間▽において、△条件的▽にも存在する。

たとえば、高校生Bは△高校のDホームルームのE時間において、他と代りえないと、△にいて誰よりも前衛的でありうる。

また東京の政治的前衛が、かならずしも姫路においての政治的前衛でありえないときがあるよう、地域でもしづしばしば時間的・空間的に、東京よりより政治的に前衛的でありうるだろう。

⑪ 一のようにして、△一般の前衛化▽は、あらゆる△前衛的▽な△

(15) たとえは、男と女が関係をもつという、とは、一般的の人間関係をより深い人間関係として創り出す作業であろう。

それは、①へ異性Vとしての男と女であること、すなわち興っている部分においてこそむすびつく②むすびつき、一関係一は、相互に相手によって自己をつくりかえつつ、相手をもつくりかえる作業であるとともに、男は女とのむすびつきにとって、より男たりうすものとしての自己主体をたしかめ、女は男によつて、より自己的女を主体化することである。

つまりへ関係▽とは歴的なへ同化▽へ統一▽ではなく、よりその特質をあきらかにすることでの、その異った特質においてのへ連合▽にほかならない。

(16) 私たちは自己の五体をもって权力との非妥協的、永続的闘争を展開している人々しかアナキストとして許容しない。書齋で古今東西の文献を読み破して、いろいろ秀才は、けつしてアナキストではない。理論的構築のためアナキズムとマルキシズム両者の不都合な部分を捨象し、適當な部分を総合したところの折衷主義者もまたアナキストではない。アナキストとは、ウエーラ・サースリッチ、吉田大次郎のごとき熾烈な炎が内に燃えている純粹無垢な人々をさすのであって、けつして資本主義社会の生産したヒツビーのごとき風俗派を指すのではない凸

（17） 15万博粉碎行動は一切の新左翼諸派およびアナキストタルーフをふるいにかけ、リトマス試験紙の役割を果たした。へ万博▽3・15をめぐる諸党派の動勢をみると、オーに万博では組織拡大できないという理由で、当日他方面カンパニアへ駆進した革共同革マル・前進両派がある。オニに一切の闘争をさぼりネトライキをきめこんだエセインター・ナショナリストオ四インター・赤軍派がある。オ三に万博粉碎共闘に参加しながらもブルジョア個人主義集団にふさわしく当日の行動から逃亡した関西へ平連、キリスト者反戦連合がある。オ四に大阪城公園の集会云々に参加しながらも、私服群に威圧され、現地行きを放棄して敵前逃亡したフロントー大阪中央反戦、共労党中央学園、革労協へ青解）、一反帝戦線、一反帝労学評議会、共産同一反帝戦線、一反帝戦線がある。

それでは、わが低迷する関西のアナキスト戦線においてはどうであつたか。向うまでもなくわれわれのみがよく闘争に決起したのであつた。自由連合社シマベリスト群、およびその日その日の出来事で動いたり寝たりするテキソコナイは言うまでもない。

これらに共通するものは、へ自己の前衛としての存在主張▽がへ他者の前衛としての存在否定一抹殺▽として、自己の視野以外から一切の風景を斜断して、革命世界を構築しうるという一きわめて狭いへ前衛意識▽であり、たゞ自己への統一、内ケバがまさ先行する一過去のへ前衛▽を意味している。

（17） へ自由連合派▽といふ呼称がある。それはもちろんひびの志向ともつセクトとしてのへ前衛▽組織もつセクトとしてのへ前衛▽は、また、へ前衛とは何か▽を改めて自らに向わねばならないだろう。い。それ故にこそへ自由連合派▽は、他者とのへ関係▽とへ連合▽に対するものではない凸

（18） 15万博粉碎行動は一切の新左翼諸派およびアナキストタルーフをふるいにかけ、リトマス試験紙の役割を果たした。へ万博▽3・15をめぐる諸党派の動勢をみると、オーに万博では組織拡大できないという理由で、当日他方面カンパニアへ駆進した革共同革マル・前進両派がある。オニに一切の闘争をさぼりネトライキをきめこんだエセインター・ナショナリストオ四インター・赤軍派がある。オ三に万博粉碎共闘に参加しながらもブルジョア個人主義集団にふさわしく当日の行動から逃亡した関西へ平連、キリスト者反戦連合がある。オ四に大阪城公園の集会云々に参加しながらも、私服群に威圧され、現地行きを放棄して敵前逃亡したフロントー大阪中央反戦、共労党中央学園、革労協へ青解）、一反帝戦線、一反帝労学評議会、共産同一反帝戦線がある。

それでは、わが低迷する関西のアナキスト戦線においてはどうであつたか。向うまでもなくわれわれのみがよく闘争に決起したのであつた。自由連合社シマベリスト群、およびその日その日の出来事で動いたり寝たりするテキソコナイは言うまでもない。

（18） へ前衛としての存在主張▽がへ他者の前衛としての存在否定一抹殺▽として、自己の視野以外から一切の風景を斜断して、革命世界を構築しうるアメリカ人のフランクへ自連17号紹介）君が自身参加している。彼は講演会後もしばらく沖縄で、米軍内の要請があつたが、ビル申請期間が遅れたため、ビルなしで渡沖できず、それが自然なことです。――

（19） へ自由連合派▽といふ呼称がある。それはもちろんひびの志向ともつセクトとしてのへ前衛▽組織もつセクトとしてのへ前衛▽は、また、へ前衛とは何か▽を改めて自らに向わねばならないだろう。い。それ故にこそへ自由連合派▽は、他者とのへ関係▽とへ連合▽につけての視覚を失つたへ政治的前衛▽セクトのないにあって、自らの存在の意味と役割をどのように見出したり、どのように他者と関係を創り出していくか、といつーへ新しい前衛▽の創出が、つねに切実で意識的な課題とならねばならないだろう。

（現代暴力論ノート補遺） 小川 信

（20） 沖縄ではじめてのアナキズム講演会 NEWS NEWS

（21） 沖縄ではじめてのアナキズム講演会 NEWS NEWS

（22） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（23） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（24） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（25） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（26） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（27） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（28） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（29） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（30） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（31） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（32） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（33） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（34） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（35） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（36） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（37） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（38） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（39） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（40） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（41） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（42） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（43） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（44） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（45） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（46） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（47） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（48） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（49） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（50） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（51） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（52） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（53） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（54） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（55） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（56） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（57） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（58） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（59） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（60） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（61） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（62） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（63） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（64） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（65） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（66） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（67） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（68） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（69） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（70） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（71） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（72） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（73） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（74） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（75） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（76） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（77） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（78） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（79） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（80） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（81） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（82） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（83） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（84） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（85） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（86） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（87） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（88） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（89） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（90） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（91） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（92） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（93） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（94） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（95） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（96） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（97） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（98） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（99） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（100） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（101） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（102） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（103） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（104） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（105） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（106） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（107） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（108） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（109） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（110） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（111） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（112） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（113） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（114） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（115） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（116） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（117） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（118） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（119） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（120） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（121） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（122） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（123） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（124） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（125） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（126） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（127） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（128） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（129） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（130） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（131） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（132） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（133） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（134） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（135） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（136） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（137） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（138） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（139） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（140） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（141） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（142） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（143） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（144） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（145） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（146） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（147） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（148） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（149） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（150） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（151） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（152） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（153） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（154） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（155） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（156） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（157） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（158） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（159） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（160） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（161） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（162） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（163） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（164） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（165） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（166） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（167） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（168） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（169） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（170） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（171） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（172） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（173） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（174） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（175） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（176） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（177） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（178） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（179） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（180） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（181） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（182） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（183） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（184） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（185） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（186） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（187） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（188） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（189） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（190） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（191） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（192） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（193） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（194） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（195） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（196） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（197） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（198） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（199） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（200） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（201） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（202） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（203） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（204） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（205） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（206） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（207） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（208） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（209） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（210） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（211） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（212） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（213） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（214） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（215） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（216） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（217） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（218） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（219） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（220） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（221） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（222） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（223） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（224） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（225） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（226） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（227） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（228） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（229） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（230） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（231） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（232） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（233） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（234） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（235） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（236） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（237） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（238） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（239） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（240） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（241） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（242） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（243） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（244） アジア系アメリカ人運動 もう一つの黒人運動か

（245） アジア系アメリカ人運動

しても、アサンジカリストの運動が無政府主義的鼓舞、行動、批評に指導される、時に於てのみ、教育及び革命の手段・方法として益するものである」とする考え方は、自然発生的労働運動はトレード・ユニオンズを越えられないから

無政府主義

(エンリコ・マラテスター著
群馬・黒戦社発行)

組織論

無政府主義
組織論

しに「参加契機」と「問題自身」
にてはなく、既成の「運動」に見
出す考え方には疑問がもたれる。
確かにアナキズムはアヌア、アフ
リカの「暴力的权威主義的革命」
よりも一九六八年のフランスの方
に好機を見出した。しかし、だか
らといってアジア、アフリカ、南
米の問題から目をそらしてよい

また、唯一著者の主張のみられ
る、アナーキストは何をするかし
において、アナキストにとつての
絶好の機会として非派閥運動への

(エ) ジラス・オリルタ著
「ニ」に書かれていることは、原著者も言つており、オリジナルでも決定的でもないし、先行する文献によつて書かれててしまつてゐる。アナーキズムは知識ではないし、というのが著者の意見だ。どうだがこのパンフレットは読者に知識以外のなにもものへ向題提起も、理論も、感動も、衝撃も、反撲も、与えないとどう。しかも事実に基づいた知識ではなく、アナーキストの信じるもの」とか、アナーキストは何を望むか」といふた知識だ。余り役に立つとも思えな

外部から目的意識性を注入せねばならぬ、とするレーニンの理論と同じであつて、不ルシェウイズムへの屈伏ではないか？

に迷ふられたサンジカリ更ムの入門書だ。

卷之三

卷之三

マフノ運動

(石川三四郎著
群馬、児童社発行)

P・アルシノフ著 マフノ運動の歴史よりの抄録。マフノの運動に対して、当時のロシア人アナキストはヘクドボトキンを除いて、冷淡であったとか。「如何なる度までは排斥すべきか、し何如なる度までは排斥すべきか、それは時と場合の問題であつて、予めドタマを立てて置く事は出来ない。

L 「一 石川三四郎のことば

申しこみは、振替宇都宮一一〇
一五・大島英三郎 一五〇円

その理解には多くの図表が手助けしてくれる。そして技術革新によって筆を走らせていくのは注目してよいだろう。

アナキストとサンジカリズムの共同の大さなバターを打ち出すべきだという著者の主張は、常に尾を引く純正アナキストとサンジカリストとの根深い対立に強烈な反省を促すものであり、偏狭独善な個人主義に陥り入りやすいうアナキスト個々にいくつかのヒントを与えていくだろう。しかしサンジカリズムの展望として述べられている章も、へ理論への深化の不充分やと斬新との欠如もあって、へ展望としうほどの展望ガでこない。サンジカリズムは現代社会で何をどれだけできるかが明確でない。大胆な仮説が展開されるべきであった。その意味でもこれは

発行所 印友会本部、東京都墨田区京島一の一八の八、一五〇円
アサヒカリスマの歴史
（秋原晋太郎著）



いら。これは「日本アナキズム運動史」、「労働運動史」の欠落部分を補う資料としての価値がある。

後半部に、「変革期におけるアナキズム」という著者の戦前の小論が付されている。これは社会改革における過渡期を認め、高率累進税及び財産繼承税の制限によるブルジョアジーの自然的後退、革命防衛のための軍備、警察制度の必要を認めたものである。これには当然「それでは权力が發動するではないか!!」といつ反発が予想される。しかし、過渡期の問題がアナキズム理論の最大の弱点であることは、誰もが否めない事実であり、今後大胆に追求さるべき必要があろう。

あくまでも入門書にしてある。

その理解には多くの図表が手助けしてくれる。そして技術革新によって筆を走らせていくのは注目してよいだろう。

アナキストとサンジカリズムの共同の大さなバターを打ち出すべきだという著者の主張は、常に尾を引く純正アナキストとサンジカリストとの根深い対立に強烈な反省を促すものであり、偏狭独善な個人主義に陥り入りやすいうアナキスト個々にいくつかのヒントを与えていくだろう。しかしサンジカリズムの展望として述べられている章も、へ理論の深化の不充分やと斬新との如もあつて、へ展望としうほどの展望ガでこない。サンジカリズムは現代社会で何をどれだけできるかが明確でない。大胆な仮説が展開されるべきであった。その意味でもこれは

アーヴィングとアーヴィング

味しますか。一いんばに帰郷とは困難で、のものたる否定する、いじめを止めん。アナキストの立場は政府ではなく、個々の兵士にして、兵士であることをやめ、国家に叛逆して家に帰る、ことを呼びたけるのです。

シカゴ北部の地方紙である「クロージー・スター」のインタビューに対して答えて、シカゴのジャーナリスト、ジョフン・スチャートの意見がある。

質 あなたはどうしてアナーキーをまるののですか。アナーキーとは、矛盾した目的をもつ、混乱した状態のことでしょう。

ジョフン アナーキーとは非支配の意味で、混乱した状態ではなく、权力、支配、命令による調和など、自分たちの能力による眞の調和を示すものです。軍隊組織、私有財産制、税制、小作料なんかの权力性に対する正當なる自由の権利を示すものです。

質 その目的のためには、支配を全然なくしてしまつより、すべての人のための社会分配をくりだす方がいいんじゃないですか。

ジョフン お醜どこのものは、たとえ民主的なものであっても、結局は人の腕をねじあげ、ムチ打ち、財産をひったくり、刑務所にやり込むことを意味するんです。それは私達の求めるへ協同とは相容れない、協同の意識は私達が自分の生活を自分でコントロールするものです。これを民主主義と混同されてしまうのは困ります。デモクラシーどこの国は「支配した意味すありべれど、からきた語根の「carte」を否定しないでいたから……。

質 でも人間には国家が必要だとさう。

ジョフン 六千年から一万年の人類の歴史を見ても、うんない。国家というものは少數者が大多數者をあやつる構造にすぎないってことは明らかです。アナキストとマルクス主義者の最も対立するのは、マルクス主義者が変換期と称して、人々の腕をねじあげて、社会に自由をもたらすことをますく明かにしている

じやなことをか。

アーヴィングとアーヴィング

質 しかし、政府やおや警察の束縛がなければ、弱肉強食の世の中に生つてしましました。人間とはそういうたるものですよ。

ジョフン あなたは人間の性格をアメリカの、それも大都市の人間だけを思つて思つているんではあります。ちよつと人類学的知识があれば、支配機構なしで生活していく大勢の人人がいることなりかるでしょう。アメリカ人はお互いに同志を恐れ合つてじるため、警察や裁判所や牢獄がなくなるのも嫌がる人です。また、社会を改革する理論と、その結果をあがめる社会との間に深く関連があります。つまり、非权力社会を望む人々は、自ら自身で現在の世の中を変えてゆく非暴力行動をしなければなりません。

質 それで、一体あなたはどんな行動をしようとしてるんですか。

ジョフン 市民权を放棄し、税金の不払いや微兵拒否を行います。そして逮捕されれば、命令によつて歩くことを拒否します。裁判においては、国家に対する忠誠の誓いや、国家賛同を拒否します。裁判所へは裁判所の侮辱をするために

のせます。別に申し立てはしません、とまあいつ云つた方法で諸制度を破壊するわけです。一つようして人々が政治結構の廢棄を行なつてゆく過程で、新しい社会が創られてゆきます。

質 しかし、もしも人々があなたの言つように自由を求める、自由に基づく社会をつくることをできるなら服従したり、权力を求めたりするのですか。人々はちつとも自分アリの生活を管理したがらないし、それどうかそれを嫌がつてやまざるじやないでしょうか。

ジョフン 一人は权力と自分とを混同してしまつてします。だからこそトトナムで戦うことをするのです。それが戦争で戦うことを選ぶのです。それも命令がなければトナムと

しまるのが当然だとしている御相談下さい。
告 アナキストと革命戦争、申しぐみ

もちろん、だれもがそれに同意していにのではない。フローレンスのように反共産党色の強い地域のアナキストは、^レ共産党にウマニタ・ノーバを身売りするのかしとひ、ウマニタ・ノーバでフリ連のチエコ侵入を充分弾劾でき、なかつたのは、共産党のコントロールがあつたのではないなどと批判している。

それにもしても週刊で毎回五千部出している残閏紙であれば、資金難もそくた易いものではない。しかし、ブローレンスやカララを中心とする少數造反派は、ゆくゆくはこのウマニタ・ノーバの編集局をカララに移して、カララにアナキスト系の印刷所を新しく創ろうとしている。

マニタ・ノーバへ新しい人向性の事務所は、このローマ駅の裏側歩いて5分程のところにあつた。それは、イタリア共産党中央本部のバカでかい建物と背中合わせになつてあり、外の人のぼくにもすぐに対しに。

二年ほど前、イタリア・アナ連に小さな分裂があつて、いわゆるインテイウイヌアリストと称する連中が連盟からはなれて立った。それまでインテイウイヌアリストや、彼らと深い関係にある在米イタリア人アナキストのカンパニよつて、連盟残闘紙の台所は支えられていたため、イタリア・アナ連は既座に経済的危機に入った。その打開策としてとられたのが、共産党の印刷所で一緒に刷つてもうことである。ここだと普通の印刷所より経費は半分ほ安くなる。

フローレンスからローマまでは急行列車で4時間の道のりであった。新装したばかりなのだが、古代ローマのイメージとはかけはなれで、ローマ駅は妙に近代的で、首都に似つかわしくない安っぽい感じを与えていた。

三一〇四/四
アサヒ

武者修業の記

(14)

三尾閥 弘

やつてくれるので、事務所の仕事は手紙の返信などが主となり、のんびりした感じさえ覚えた。ちょうどその時が、新聞を出し終えた直後だつたせいかもしれない。

それでも事務所には、今近くを通りかかったんで……」と立寄るものもいた。彼らとタバッタリに、一緒に仕事をしたりしていきたところに、偶然、ラニエロから電話があつた。ラニエロは大学に行つているロツシ家の長女で、ぼくとはカララ以来の大仲良しだある。ぼくが事務所にいるのを知つて、彼女はすぐにやつてきた。ぼくを見つけた彼女は、大下サに驚いてみせ、飛びかかるように抱きついてきて、ぼくの両頬と唇に軽くキスをした。

までローマにゐれんんだい。日本人
といふのはまるで手品師だ。予告も
なく突然あらわれたりして、気がつ
いたら扉のむこうに立つていろ
のだから……。」
ペラペラとこゝだけのことと一緒に
にしゃべつたこの男を、ぼくはカラ
テの大会以来知つていて。彼は現在
ウマニタ・ノーバの唯一人の有給專
従員である。彼のほかにアンナが毎
日のようにやつてきて、タイブ打ち
の手伝ひをする。アンナといふのは
イタリアでヘアナキスト家族として
て良く知られているロツシ家の女主
人である。そのほかにも、現在のウ
マニタ・ノーバの奥貞的な編集長で
あるマントバニーが居るはずだが、
ちようど彼は身体を悪くしており、
ぼくは病床の見舞いに行つたうりで
充分詰ることは出来なかつた。

ウヌニタ・ノーバの事務所は、小さな二つの部屋からなっていた。一つの部屋には古い新聞がつづ高く積まれてあり、もう一つの部屋には、大きな机が二つ壁に向かって横に並べられており、タイプを置いた方の机の前で、中年の男性が何やら事務をとつていた。彼の背後の壁には、各棚ごとに、世界各国から送られてきたアナキズムの戦闘紙、パンフレット類が、きっちりと整理されて並べてある。

ぼくの姿をみつけた中年の男は、ペンを置くと腰から伸び上つて大口をぱちぶりで罵りてみせた。



は増々読むだけの読者にはおもしろくないものになつていくはずだ。

①さて次にぼくたち編集者だが、ぼくたちはいかがれん長く編集をやりすぎている。いいかげんに首切らえていいのだが、この難用を引き受けの人がいない。新しく自運製作に仲間入りする人もいたが、長くは続かなかつた。余りにつまらない仕事をだからである。何故か。編集だけしているから。自運の発行・編集の仕事は運動の中に解消すべきである。その結果、その必然として自運の再生を願おう。結論的に云ふう。次号の自運はでないかも知れない。活動家の君が社員として、記事を書かねば、読者の君が輸転機を回わしに来なければ、月末に近づくと自動的に送つて来るのが自運だと思つてやがる。馬鹿野郎め、誰が封筒のノリ付けをし、誰が宛名を書き、誰が手紙を切つたと云うんだい。その精算は30円では池井に危ういぞ！ セめてアンケートでも毎回返送してくれーとうとう患癌になつたところで。(西園(弘))

（自運発行が遅れてしまひました。うだるような暑さで、編集者も印刷機械もかなりにクロッキーになつてゐるせいもある、それ以上に現在の自運発行体制に相当の疲れがこゝへいる。少々ケチっぽくなるが、真夏の夢想へバラ色の自連／＼を考えてみた。

①自運の発行過程をめぐって一つのサークルができてしおつてゐる。

編集者／＼活動家　といふふうなものである。
しかし自運ではそもそも読者というものはいなはずである。自運は普通の商業新聞のよう、30円出せばだれでもが購読ができるといつものではない（断じてナイゾ！）本来、編集者も読者も活動家も（自運社員）と呼ばれる同一人物によつて担われるものである。

②読むだけの読者、活動するだけの編集者をなくそうというのが自運運動というものである。活動家は自運の活動を常に言語化、思想化、へ変化するものとして自運を利用して欲しい。読むだけの

A black and white illustration of a man in traditional Japanese clothing (yukata) standing next to a large sword (tachi). He is holding a small object in his hand. The background shows a building with vertical text on its side.

○自由連合 19号用アンケート

- このアンケートは姫路市龜山354へ送って下さい。
- 自連を毎号購入に入手する為には、直接定期購読して下さい。
- 自連購読料納入には振替口座(大阪1264)を使って下さい。
- あなたも自連に原稿を書いて下さい。記事になる様なビラ・資料
・枚葉紙なども送って下さい。多くのグループとの交換を希望します。

○ 次の項目に○印などを入れて下さい。

I 本号に注目する記事は、

- (1) あった。 (口) なかった。 ……それは 頁の _____
_____ 頁の _____

II 読むほどでもない記事は、

- (1) あった。 (口) なかった。 ……それは 頁の _____
_____ 頁の _____

○ 今後の自連送付について。

- (1) 既に購読申し込み済。 (口) 今号から購読する。 (口) 送附不要
(2) 時々カンパするから送れ (木) 次号から 部に変更。

あなた	どう	
の書	きじつ会	会

○ 通信その他感想連絡あればウラ!

あ次き下さ()。

ハジメテ! ガリギリ ナカナカ ウマク イキマヘン。

原紙が夏ばてで印刷がうまくイキマヘン。 ボクも夏ばてです。